



福島小学校の取り組み

一人一台端末時代の子どもたちの学び

令和三年度は、教育現場にとって大きな変革の年となりました。学校や家庭で学習するための道具の一つとして、子どもたち全員にタブレット端末が配付されたのです。「GIGAスクール構想」元年となった今年度の福島小学校のおもな取り組みについて紹介します。

福島小学校	校長 中島 剛
児童	161人



福島小学校ホームページ

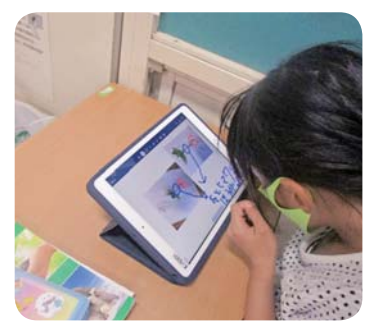
**GIGAスクール構想とは**  
 これまでの教育実践にICT (Information and Communication Technology (情報通信技術)の略) を組み合わせた授業改善を目指しています。学習活動の一層の充実と新たな時代を生きていく子どもたちの力を最大限に引き出すことを目的としています。

授業編

生活科や理科では、植物の成長場面を一つ一つ写真に収め、プレゼンテーションソフトに観察記録をまとめ、発表しました。算数では、タブレットに自分の考えを書き込み、画面を見せながら友だちに説明する活動を通して、より深い考えができるようにしています。体育では、自分の動きを友だちに動画で撮影してもらい、スローで再生して見直す活動



タブレットの使用は1人1台ずつ



理科の観察記録

を通して、自身の身体の動きをより客観的に捉えたり、振り返ったりすることができるようになっています。さらに、外国語活動では、ボイスレコーダーを使ってコミュニケーションをとる、対話的な活動の充実を図っています。

調べ学習の場面では、検索サイトやデジタル新聞(モニターとして使用中)から自分に必要な情報を集めています。たくさん情報の中から必要な情報を選択したり、信頼できる情報かどうかを見極めたりしています。また、情報の出典を明らかにするなど情報リテラシー(情報の扱い方)を高めています。

読書活動編

読書活動の中でもICT機器を活用しています。タブレットを開き、電子書籍の検索サイト(トライアル体験中)で自分が読みたい本を探し、読書の時間に読んでいます。また、デジタル新聞も読みながら、社会の出来事やコラムなど新聞を読むことのおもしろさも体感しています。

「ごどもの本」総選挙では、これまでは紙に記入して投票していましたが、今回は自分のタブレットでQRコードを読み込んで、お気に入りの本を投票しました。



電子黒板のライドショーで「本の紹介」を上映中

集会・行事編

コロナ禍における緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、教育現場の状況は大きく変化しました。警戒度が高いときは、朝礼や集会はリモート配信となり、教職員が集会の様子を撮影・配信し、児童は各教室でモニターやスクリーンを見ながら参加します。運動発表会も、他学年の競技の様子が各学年に配信されました。

五年生で実施されている自動車工場の見学もリモートで行います。工場に行かなくても、画面を通して工場の様子を知ることができます。今後は、遠く離れた学校との交流や専門家のお話をうかがうときなどにも活用していく予定です。



リモート配信された集会の様子

外で遊ぼう！



雨上がりの休み時間の校庭、水たまりのないところを見つけコートを描き「ドッジボール」、水たまりを飛び越え「鬼ごっこ」、子どもたちは工夫しながら楽しそうに遊んでいます。

教育相談室

◆問い合わせ・相談申込  
 学校教育係 ☎(64)8323  
 福島小言語指導教室  
 ☎090(2238)8704

子どもたちの成長に大きくかかわっています。走る、しゃがむ、飛び跳ねるなどさまざまな動作をすることで体力が付きまします。さらに、体の複数部分を連携して動かすことで脳の発達も促します。さまざまな状況を考慮し、何をどのようにして遊ぼうか、ルールはどうしようか、どのようにしたらうまくできるかなど考えて動く力が伸びます。



ICT機器の上手な使い方とは？

「先生、授業でタブレットを使いますか?」「使いますよ。」「やったあ。」「タブレットを使用することにより、子どもたちは目を輝かせ、より主体的に授業に取り組みます。自分の命令で思い通りに動くタブレットはとても便利な道具です。」



身体の動きを動画で撮影

子どもたちは、学校だけでなく家庭にもタブレットを持ち帰って学習しています。教職員から送信された課題やドリル学習に取り組んだり、電子書籍やデジタル新聞を読んだりして家庭におけるタブレットの使用機会も多くなっています。家庭学習の充実が期待されています。



タブレットを使用した対話的な授業

その一方で、子どもたちの情報モラル(情報を正しく扱う態度や考え方や情報リテラシー)に対しては心配する声もあります。「読むこと」や「書くこと」など、これまでに行われてきた学習も大切にしていかなければなりません。ゲームとかかわり方やSNSの問題、目の健康などについても危惧されています。学校保健委員会では「タブレット学習が始まった今、目の健康について考えよう」を今年度のテーマにして、全校で取り組んでいます。



ランドセルに入れたタブレット

学校はもちろん、家庭や地域、大人も子どもも、みんながICT機器の上手な使い方を考えていくことが求められています。